

にしはま推進協だより

第76号 令和6年3月31日

西浜学区青少年育成推進協議会

会長 鈴木 葉子



学童保育「晴れハレにしはま」の様子

ドキドキチャレンジ

～ちがさきの生きもののマップを作ってみよ 令和5年9月2日

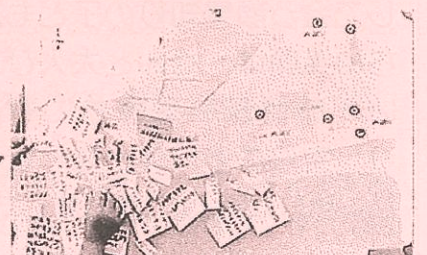
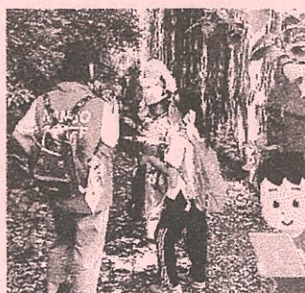
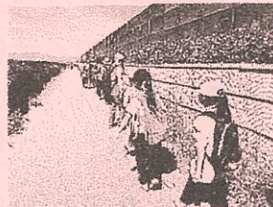
児童11名、スタッフ29名（子ども会役員7名・推進協4名・公民館7名）が4つの班に分かれ、南湖公民館からサイクリングロードを通り、ちがさき柳島キャンプ場周辺へ行きました。

生きものや植物をタブレットで撮影し、「BIOME（バイオーム）」アプリを使って調べていきます。公民館に戻り、調べたものの名前をそれぞれ付箋に書き、班ごとに大きな地図の見つけた場所に貼り、オリジナルマップを作りました。

ドキドキチャレンジに参加して

伊東 明日花

柳島の防砂林の生きものを観察して、自然観察アプリで写真を撮り、公民館の大きな地図に付箋を貼ってオリジナルマップを作りました。



付箋を貼ってマップを作製



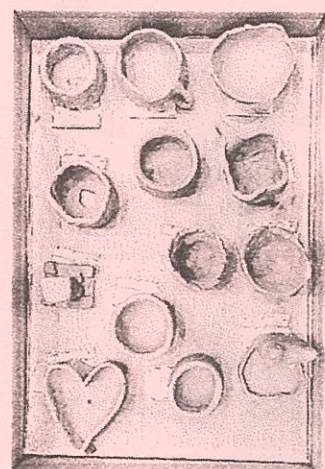
西浜学区子ども大会 ～陶芸～

令和5年11月27日
西浜小学校 体育館

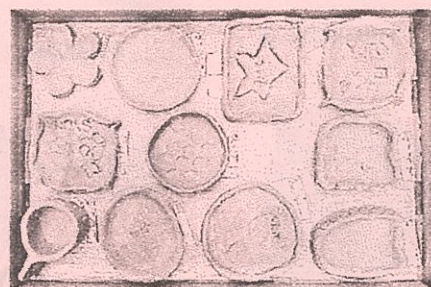
今年の「子ども大会」は4年ぶりの開催となりました。例年行っている陶芸を参加者118名（児童83名・幼児8名・大人27名）とスタッフ24名（子ども会役員18名・推進協6名）で行いました。

参加者一人ずつに粘土が配られ、思い思いに好きなかたちを作っていきます。4色の釉薬（ゆうやく）から好きな色を決めて、1か月後の完成を待ちます。

完成品を受け取った子どもたちは、とても嬉しそうでした。



制作風景



子ども会

～一年間を振り返って～

上町子ども会

一年間を振り返って印象に残るのは、やはり子どもたちの笑顔です。

さまざまな行事が再開した今年度、催しを楽しむ子どもたちの笑顔は私の活力になりました。また、久々にマスク無しで会う顔見知りの子どもの笑顔は、ぐんと大人びていて感慨深い気持ちにもなり、実りの多い年となりました。ありがとうございました。

会長 清水 孝恵

中町子ども会

さまざまなことがコロナから変わり、前年踏襲ではなく、全ての行事を一から手探りの状況で進めてまいりました。素晴らしい役員の間人たちと温かい自治会や地域のみなさまのサポートにより、どの行事も伸び伸びと活動でき、この一年の思い出はどれも楽しくかけがえのないものです。一年間、ありがとうございました。

会長 井上 可奈子

下町子ども会

昨年は3年ぶりのイベント復活祭となりました。大変なこともありましたが、汗をかきながらみんなで「どっこい、どっこい」とお神輿を担いだこと。下町子ども会のイベントでは、60名近い参加者でボーリング大会も盛り上がりました。なによりマスク無しで子どもたちの笑顔が見られたことは本当に嬉しかったです。一年間ありがとうございました。

会長 向井 咲子

第2回 おやため交流会

学校に行きたくない…と言われたら

～子どもの小さなSOSを見逃さない～

令和5年9月16日 南湖公民館

講師 阿部 伸一 氏（株式会社REO 代表取締役）

～講師プロフィール～

横浜市在住1973年生まれ。不登校生の学習指導やカウンセリングを行う株式会社REOを2001年に創業。「不登校でもイイじゃん」を合言葉に、子どもや家庭への対応をマニュアル化せず、本人の資質や環境に合わせた具体的な対策と独自のスタンスが特徴。20年余りで1500名以上の不登校生や家庭と関わった経験をもとに、セミナー、講演、個別相談会などの活動も行っている。



学校に行きたくない…



どうしたらいいの…



『おやため交流会』に参加して

今年度開催された『おやため交流会』のテーマは「学校に行きたくない…と言われたら」でした。子どもが学校に行きたくないと言うことは我が家でもありました。無理矢理行かせたくないけど、ずっと家に居られても不安…そんな時の心の持ち方を知りたくて、この講座に参加しました。

一番心に残った言葉は「否定しない」ということです。学校に行きたくない子に対してだけでなく、どの子にも当てはまることだし、夫婦にも、祖父母世代にも、さらに自分に対しても当てはまるお話だと感じました。講師の阿部氏によると不登校の原因はさまざまですが、「無気力・不安」が多いそうです。それはこれまで本人の問題とされがちでしたが、親も社会もみんなが「否定しない」風潮になり、安心して幸せを感じられるようになれば、子どもも安心して生活できるのかな…そんなことを考えるきっかけになりました。

（参加者より）

【その他の感想】

- 実際数日前に子どもに言われたばかりでした。私の時代は、頑張って登校する、理由をはっきりさせなければならなかったですが、今は受け入れて心を休ませてあげることが大切だと思い対応できたが、ついアドバイスをしてしまっていたので、家に帰ってから「聴く」を大切に、雑談をたくさんしたいと思いました。
- 具体的な例もあり込まれながらのお話で、非常にわかりやすかったです。ついアドバイスしたり、「えっ？」と反応したりしていたので、否定せず、さえぎらず、アドバイスせず、どんな話でも丁寧に聞きたいと思いました。今から始められる内容で満足です。
- 同じ交流会に参加した者同士でのワーク楽しかったです。話をきく、とてもためになりました。子どもに対してだけではなく、大人の間でもよくある光景です。まずは、自分からチャレンジしていきます。子どもたちになんて欲しいではなく、安心安全を与えられる親になりたいと思います。コミュニティでそんなリラックスできる場が作れればと思いました。



子どもの広場

たこつく

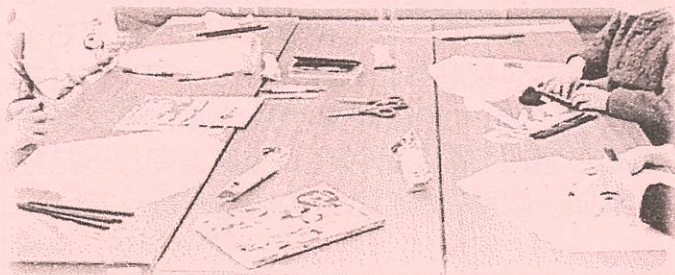
凧を作ろう！

令和6年1月20日
南湖公民館

1月に凧作りを開催しました。今年は朝から雨のため、残念ながら室内での凧作りのみを行い、海岸での凧揚げは中止となりました。

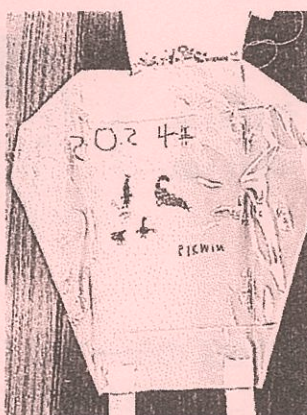
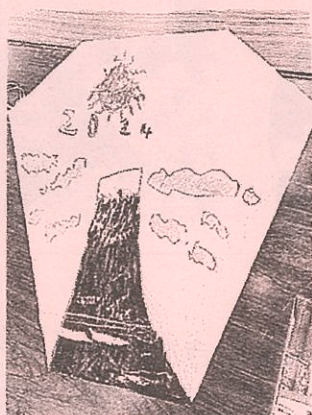
子どもたちは、ビニール凧に干支の辰やキャラクターなど、好きな絵を描いてストローを骨組みにして、凧糸をつけ完成させました。それぞれに個性あふれる凧ができあがりました。

南湖公民館スタッフ



絵をかくのに時間が
かかってしまった

子どもたちの感想



凧の糸をむすぶのが
むずかしかった

凧揚げができな
くて残念だった
全部自分で作れ
てよかった



令和5年度事業報告



令和4年

4/21	定期総会
5/24	役員会
6/23	理事会
8/19	南湖地区納涼盆おどり
	パトロール
9/1	推進協だより第75号発行
9/2	ドキドキチャレンジ
9/12	役員会
9/16	第2回おやため交流会
9/29	理事会
11/12	南湖ふれあいまつり

令和5年

11/18	はたらくクルマ大集合
11/27	西浜学区子ども大会
12/9	クリスマスオーナメント作り
1/20	子どもの広場
1/21	役員会
2/21	役員会
3/2・3	南湖公民館まつり
3/22	理事会
3/24	やなスポフェスタ 2024
3/31	推進協だより第76号発行
	* 随時パトロール